

会 報

No.54 (1996年6月)

目 次

◆第19回 (1996年) 日本分子生物学会年会のお知らせ (その3)	1
◆第19回 総会のご案内	3
◆1995年度会計収支決算報告	4
◆1995年度会計監査報告	4
◆学術賞、研究助成の本学会推薦について	5
○平成8年度日産学術研究助成について	6
○平成8年度東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者の 推薦について	6
○第28回 内藤記念科学振興賞受賞候補者の推薦について	6
○第28回 内藤記念海外学者招へい助成金の推薦について	7
◆フェロシップ、研究員公募のお知らせ	7
○第3回 井上フェロー	7
○1997年度日本学術振興会ナポリ臨海実験所派遣研究者	8
○理化学研究所主任研究員	8
◆各種シンポジウム、講習会のお知らせ	9
○第7回 電顕サマースクール1996	9
○千里ライフサイエンスセミナー「遺伝子診療」	9
○千里ライフサイエンスセミナー プレインサイエンスシリーズ 第9回	9
○国際幹細胞シンポジウム	10
○神奈川科学技術アカデミー1996年度第Ⅲ期 免疫学入門コース	10
○第47回 タンパク質構造討論会	11
○第5回 日本バイオイメージング学会学術集会	11
○第1回 静岡 健康・長寿 学術フォーラム	11
○国際ワークショップ Recent Advance in Genome Biology of Micro-organisms	11
○第6回 アンチセンスシンポジウム	12
◆雑誌 Genes to Cells の購読とキャンペーンに関するお願い	

日 本 分 子 生 物 学 会
(THE MOLECULAR BIOLOGY SOCIETY OF JAPAN)

◆第19回（1996年）日本分子生物学会年会のお知らせ（その3）

今回は、日本生化学会との合同開催となったため、ポスター発表による一般演題が約4,700題となりました。ポスター発表は、午前中に取付けと口頭説明をしていただき、夕方まで展示することに致しました。ポスター会場はロイトン札幌3階と、2日目～4日目は厚生年金会館3階を加えて2カ所となります。1演題分の幅が例年よりも狭くなりますが、掲示の工夫などよろしくお願い致します。

特別講演には、H. Gobind Khorana, Paul B. Sigler, Douglas A. Melton 先生をお招き致しました。

公開講演には、早石 修 先生、大野 乾 先生をお招きし、非会員にも広く参加を呼びかけております。

シンポジウムは39テーマを企画し、このうち4テーマは特別シンポジウムとして特別講演に準ずる規模で行うことに致しました。

イブニングセミナーとして萌芽的テーマを募集し、15のセミナーを開くことになりました。

今回の特色として「科研費をめぐる諸問題」のフォーラム、「日本の生命科学の将来について」の討論会を開催致します。また、懇親会・ミキサーが行われる28日と最終日を除く3日間の午後5時30分から午後7時までをカクテルアワーとし、シンポジウムの演者の先生方と参加者の交流、あるいは参加者同志の交流の場として設定致しました。

バイオテクノロジーセミナーは27日～29日の午前中に8テーマが行われます。

多数の会員の皆様のご参加をお願い致します。

第19回年会長 大塚栄子

概要は次のとおりです。詳細は会報と同封のプログラムをご覧ください。

1. 会場：ロイトン札幌（札幌市中央区北1条西11丁目）
北海道厚生年金会館（札幌市中央区北1条西12丁目）
札幌市教育文化会館（札幌市中央区北1条西13丁目）
2. 会期：1996年8月26日（月）～30日（金）
3. 参加受付：1996年8月26日（月）～30日（金）午前8時より（ロイトン札幌1階）
1996年8月26日（月）～27日（火）午前8時より（厚生年金会館大ホールロビー）
当日参加費：会員 8,000円、学生会員 6,000円、非会員 10,000円
4. 発表について：
特別シンポジウム：8月26日（月）、27日（火）、29日（木）、30日（金）13：30～17：30
（厚生年金会館大ホール）
シンポジウム：8月26日（月）～30日（金）13：30～17：30（ロイトン札幌2階）
8月26日（月）13：30～17：30（厚生年金会館3階）
ポスター発表：8月26日（月）～30日（金）9：00～19：00（ロイトン札幌3階）
8月27日（火）～29日（木）9：00～19：00（厚生年金会館3階）
（28日および最終日は17：00まで）
ポスターは巾90 cm 高さ2 m です。
イブニングセミナー：8月26日（月）、27日（火）、29日（木）19：00～20：30
（ロイトン札幌、教育文化会館）
5. 特別講演：8月28日（水）13：30～16：30（厚生年金会館大ホール）
（本年も特別講演をビデオに収録して頒布いたしますので、会期中に受付にてご予約下さい）
6. 総会：8月29日（木）9：30～10：15（厚生年金会館大ホール）
7. バイオテクノロジーセミナー：8月27日（火）～29日（木）9：00～12：00（ロイトン札幌2階）

8. 連絡先：〒060札幌市北区北12条西6丁目
 北海道大学薬学部遺伝子有機化学講座内
 合同年会事務局 小川佐知
 Tel. (011)706-3975 Fax. (011)706-4989

○研究材料としての各種動物に関する情報の展示

日本動物学会によって、分子生物学の研究材料としての各種動物について、情報を展示いただく予定です。厚生年金会館もしくは教育文化会館のロビーを予定しております。どうぞ足をお運び下さい。

合同年会日程表

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
8月26日(月)	ポスター掲示													
			ポスター討論								カクテルアワー			
8月27日(火)	ポスター掲示													
			ポスター討論								カクテルアワー			
	生化学会 評議員会						特別シンポジウム				公開 講演	イブニング セミナー		
	バイオテクノロジーセミナー								シンポジウム			合同 討論	イブニング セミナー	
8月28日(水)	ポスター掲示													
			ポスター討論								カクテルアワー			
						特別講演	科研費						懇親会	
	バイオテクノロジーセミナー								シンポジウム			ジンギスカンパーティー		
8月29日(木)	ポスター掲示													
			ポスター討論								カクテルアワー			
	分子生物 学会総会						特別シンポジウム				公開 講演	イブニング セミナー		
	バイオテクノロジーセミナー								シンポジウム					
8月30日(金)	ポスター掲示													
			ポスター討論								カクテルアワー			
						特別シンポジウム								
						シンポジウム								

◆第19回 総会のご案内

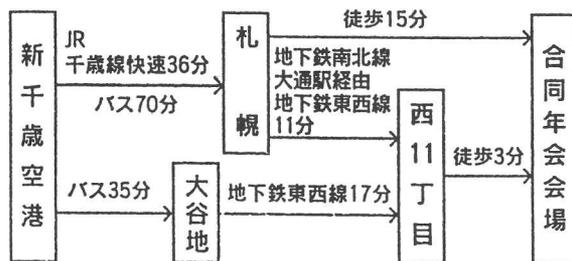
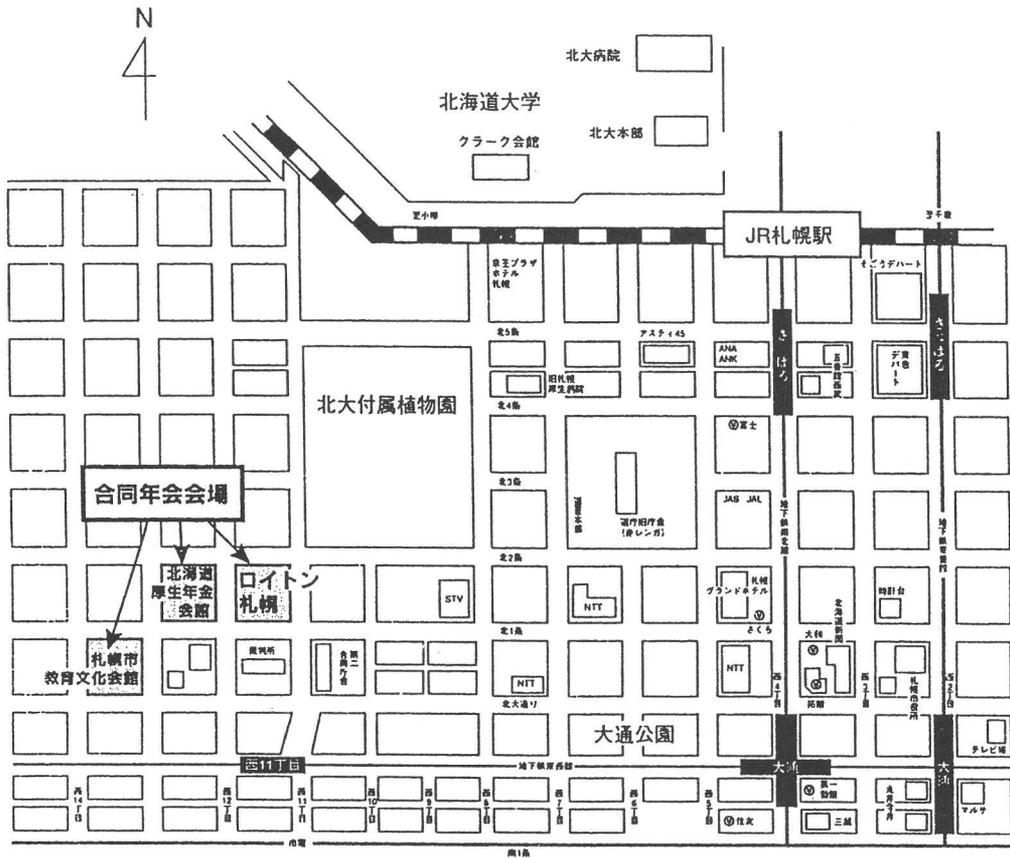
第19回 年会の会期中に、日本分子生物学会 第19回 総会を下記により開催致しますので、ご出席をお願い致します。

会長 松原謙一

日 時：1996年 8月29日（木）午前9時30分～午前10時15分

場 所：北海道厚生年金会館 大ホール（A会場）

会場への交通案内



◆1995年度会計収支決算報告

1995年度学会会計収支決算は以下のとおりになりましたので報告致します。

(第9期 会計幹事 大久保公策)

1995年度日本分子生物学会収支決算書 (1995年4月1日～1996年3月31日)

収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
学 会 費	25,610,000	29,832,237	入会金 1,194,000 正会員 22,040,000 学生会員 6,185,000 外国会員 413,237
賛 助 会 費	1,410,000	1,320,000	
預 金 利 子	300,000	154,277	
雑 収 入	50,000	47,944	
小 計	27,370,000	31,354,458	
前 年 度 繰 越 金	△500,000	4,888,786	
合 計	26,870,000	36,243,244	

支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	摘 要
事 業 費	9,200,000	10,335,788	
会 報 発 行	2,000,000	2,773,548	第18回年会 〃
年会プログラム	1,000,000	1,862,240	
年会特別講演謝金	200,000	200,000	
第19回年会補助	1,000,000	1,000,000	
国際誌発行支援金	4,000,000	4,000,000	
そ の 他	1,000,000	500,000	「構造生物学フォーラム」
評 議 委 員 会 費	800,000	909,021	
委 員 会 費	800,000	909,021	
選 挙 ・ 名 簿 作 製 費	0	0	
業 務 委 託 費	7,000,000	8,296,279	(財)日本学会事務センター
一 般 事 務 費	7,005,000	8,255,347	
用 品 費	5,000	700	
印 刷 費	300,000	171,236	
通 信 費	6,000,000	7,305,747	プログラム、会報等 郵送料
庶 務 事 務 費	650,000	650,000	庶務幹事へ
雑 費	50,000	127,664	
予 備 費	1,400,000	1,400,000	会員調査費用引当金充当
小 計	25,405,000	29,196,435	
次 年 度 繰 越 金	1,465,000	7,046,809	
合 計	26,870,000	36,243,244	

◆1995年度会計監査報告

1996年4月25日、千里ライフサイエンスセンターにおいて、会計帳簿、預金通帳、領収書、日本学会事務センター出納記録などの監査を行い、決算に誤りのないことを確認しました。

日本分子生物学会第9期会計監査

杉 野 明 雄 ㊤

釣 本 敏 樹 ㊤

◆学術賞、研究助成の本学会推薦について

本学会推薦の研究助成について次の方々が採択されました。

1. 第36回（平成7年度）東レ科学技術研究助成
宮園浩平（癌研・生化学 部長）
セリノースレオニン・キナーゼ型レセプターの細胞内シグナル伝達機構
2. 第22回（平成7年度）日産学術研究助成（奨励）
古川和広（名大・理 助手）核膜崩壊・再形成における LAP2 の機能
塚本利朗（姫路工大・理 助手）分子細胞遺伝学的手法によるペルオキシソーム形成過程の解析

選考委員会の審査に基づいて、下記の方々を山田科学振興財団1996年度研究援助に推薦致しました。

- 谷 時雄（九大・理 助教授）
遺伝情報伝達の細胞内ハイウェイ：mRNA 細胞内輸送の分子機構に関する研究
- 小林一三（東大・医科研 助教授）遺伝子を分解し組換える系の「利己的な」行動

例年、本学会に推薦依頼あるいは案内のある学術賞・研究助成は、本号に掲載したもののほか会報 No. 53に一覧として掲載しております。そのうち応募にあたり学会等の推薦が必要なものについての本学会からの推薦は、本学会選考委員会の審査に従って行います。応募希望の方は、直接助成先へ確認をお願い致します。申請書類は各自お取寄せ下さい。

本学会への推薦依頼の手続きは次の通りです。

1. 提出資料：
 - 1) 本申請に必要な書類（オリジナルおよび募集要項に記載されている部数のコピー）
 - 2) 本学会の5名の選考委員用および学会控に、上記申請書類のコピー計6部（論文は不要）
 - 3) 申込受付確認のための葉書（返信用の宛名を記入しておいて下さい）
2. 提出期限：

本申請の1カ月前までに、〒565吹田市山田丘1-3 大阪大学細胞生体工学センター 日本分子生物学会 庶務幹事 近藤寿人（Fax. (06)877-1738）まで郵送して下さい。
3. 注 意：

本申請の1カ月前までという提出期限後に受取った場合や、提出資料が不備な場合は選考の対象とならないことがあります。

○平成8年度日産学術研究助成について

1. 総合研究・海外共同研究
 - 1) 「人間-自然環境系」に関する研究
人間と自然環境との共存に関する学際的研究を期待する。
 - 2) 「人間-人工環境系」に関する研究
人工環境と人間生活の関わりを総合的に把握する学際的な研究を期待する。
2. 一般研究・奨励研究助成
 - 1) 体系的立場からの人間特性に関する基礎研究
 - 2) 地球表層環境に関する基礎研究
 - 3) 新機能材料の創製、物性・新プロセスに関する基礎研究
 - 4) 生命現象の理解に関する基礎研究
3. ワークショップ助成
継続的に実施する小規模な助走段階の研究集會に助成する。

助成内容：

研究種別	総合研究	海外共同研究	一般研究	奨励研究
応募者制限	なし	なし	概ね45歳以下	35歳以下
助成額	～1000万円	～500万円	～1000万円	～200万円

応募方法：

- 1) 当財団の申請書に記入し
 - ① 総合研究・海外共同研究は、直接財団事務局へご提出下さい。
締切日は、1996年8月31日(土)(当財団必着)とします。
 - ② 一般研究・奨励研究は、財団指定の学・協会へご提出下さい。
(日本分子生物学会への提出の締切りは、1996年7月31日)
 - 2) 関係書類は、190円切手(1部のみ)を同封の上、下記へご請求下さい。
- 申請書提出先および連絡先：
〒104東京都中央区銀座6-17-2 日産ビルネット-2
(財)日産科学振興財団
Tel. (03)3543-5597 Fax. (03)3543-5598

○平成8年度東レ科学技術賞および東レ科学技術研究助成の候補者の推薦について

1. 東レ科学技術賞(概要)
 - 1) 候補者の対象：
貴学協会に関する分野で、下記に該当するもの
 - ① 学術上の業績が顕著なもの
 - ② 学術上重要な発見をしたもの
 - ③ 重要な発明をして、その効果が大きいもの
 - ④ 技術上重要な問題を解決して、技術の進歩に大きく貢献したもの
 - 2) 科学技術賞：2件前後。1件につき、賞状、金メダルおよび賞金500万円
 - 3) 候補者推薦件数：1学協会から2件以内
 - 4) 推薦締切期日：1996年10月9日(水)必着
2. 東レ科学技術研究助成(概要)
 - 1) 候補者の対象：

- 貴学協会に関する分野で国内の研究機関において基礎的な研究に従事し、今後の研究の成果が科学技術の進歩、発展に貢献するところが大きいと考えられる独創的、萌芽的研究を活発に行っている若手研究者
- 2) 研究助成金：総額1億3千万円。1件3千万円程度まで10件程度。
 - 3) 候補者推薦件数：1学協会から2件以内
 - 4) 推薦締切期日：1996年10月9日(水)必着
3. 推薦書提出先および連絡先：
〒279浦安市美浜1-8-1 東レビル
(財)東レ科学振興会
Tel. (0473)50-6103

○第28回(平成8年度)内藤記念科学振興賞受賞候補者の推薦について

1. テーマおよび候補者
 - 1) 人類の健康の増進に寄与し得る自然科学の基礎的研究、なかならずく疾病の予防と治療に関する独創的テーマに取り組み、自然科学の進歩発展に顕著な功績を挙げた研究者。
 - 2) 主たる研究者は原則として単独とするが、異なる研究グループによる協同研究の場合には、連名であってもよい。この場合は、その旨を推薦書に明記する。
 - 3) 候補者の再度の推薦も差しつかえない。
2. 候補推薦件数：1推薦者から1件に限る。
3. 褒賞金額：第28回(平成8年度)内藤記念科学振興賞(褒賞)は1件。正賞・金メダルならびに副賞・300万円。

4. 推薦方法：
所定(別紙)の用紙に必要事項を記入し、当財団宛送付する。
5. 推薦書締切日：1996年11月20日(水)
6. 選考方法：
選考委員会を設けて、1996年12月下旬に選考し、評議員会の同意を求め理事会で決定する。
7. 受賞者決定の報告：
1997年2月上旬に推薦者宛採否を報告する。
8. 褒賞の贈呈：
褒賞決定者に対しては、1997年3月上旬に内藤記念科学振興賞を贈呈する。

9. 推薦書提出先および連絡先：
〒113東京都文京区本郷3-42-6 NKD ビル 8階

(財)内藤記念科学振興財団
Tel. (03)3813-3005 (直通) Fax. (03)3811-2917

○第28回(平成8年度前期・後期)内藤記念海外学者招へい助成金の推薦について

1. テーマおよび候補者
人類の健康の増進に寄与し得る自然科学の基礎的研究、なかんずく疾病の予防と治療に関する独創的テーマに意欲的に取り組み、国際的に高い評価を得ている外国の研究者。ただし、助成金はその外国の研究者を招へいする受入れ責任者に贈呈するものとする。
2. 招へいの時期：
前期……1996年10月1日～1997年6月30日の間に外国の研究者を招へいするもの。
後期……1997年4月1日～1997年12月31日の間に外国の研究者を招へいするもの。
3. 予算および助成額：
1) 本年度の海外学者招へい助成金の予算は前期・後期とも500万円が計上されている。
2) 1件は往復の航空料金または滞在費として50万円までとする。
4. 推薦者：
1) 総合大学の学部においては学部長、研究所においては研究所長とし、単科大学においては学長とする。大学以外の場合には、当財団の理事会が承認した研究機関の代表責任者とする。
2) 当財団の理事会が定めた基礎的領域の27学会の代表者とする。
3) 当財団の役員および評議員とする。
5. 推薦件数：前期・後期とも1推薦者から各1件に限る。
6. 推薦方法：
所定の用紙に必要な事項を記入し、当財団宛送付する。(その複写用紙を使用してもよい)
7. 推薦締切日：前期……1996年7月10日(水)
後期……1996年11月20日(水)
8. 選考方法：
選考委員会を設けて1996年9月上旬、ならびに1996年12月下旬に選考し、評議員会の同意を求め、理事会で決定する。なお、同一の学会等に招へいする候補が複数申請された場合には、採択は1件以内とする。
9. 採否通知：
前期は1996年10月上旬に、後期は1997年2月上旬に推薦者宛採否を報知する。
10. 助成金の交付：
助成決定者に対しては、前期は1996年10月下旬より、後期は1997年2月下旬より、必要に応じて受入れ責任者に内藤記念海外学者招へい助成金を送呈する。ただし、これの贈呈式は1997年3月中旬に挙げるものとする。

11. 推薦書提出先および連絡先：

〒113東京都文京区本郷3-42-6 NKD ビル 8階
(財)内藤記念科学振興財団
Tel. (03)3813-3005 (直通) Fax. (03)3811-2917

◆フェローシップ、研究員公募のお知らせ

○「第3回(1997年度)井上フェロー」の採用許可を希望する研究者募集について

趣 旨：

基礎科学分野の新しい開拓的發展を目指す45歳未満の優秀な研究者が自身の研究計画の推進に有力な協力が得られると考える若手研究者を自分で選定し、井上フェローとして採用して当該研究計画に参加させるための助成です。

応募資格：

1. 国公立大学の原則として大学院博士課程の教員、ならびに大学共同利用機関に所属する常勤の研究者。
2. 45才未満(締切日現在)であること。

採択予定数：

10名(採択された研究者(研究計画担当者)の研究計画に参加する井上フェローはそれぞれ1名とし、次の条件で採用します。)

井上フェロー：

1. 対 象 1997年4月1日現在で35歳未満の博士号取得者。外国人も可。
2. 選 定 採択研究者(研究計画担当者)がフェロー候補者を選定し、井上科学振興財団が井上フェローとして採用します。ただし、フェロー候補者の選定に当たっては、研究計画担当者の出身または現在所属の「大学院専攻」の出身者、在籍者または所属教職員以外から選定していただきます。

3. 採 用 フェローの採用開始は、1997年4月1日から1年以内の間とし、採用期間は、採用開始後2年間です。
4. 支給経費 井上フェローには、採用期間中、次の額を支給します。
研究奨励金 月額33万円
往復国際航空運賃等 (外国人の場合)

申請手続：

当財団に申請用紙を請求の上、所定事項を記入して、申請者から当財団に提出して下さい。

提出書類：井上フェロー採用許可希望申請書

正本1部・写し2部(計3部)

受付期間：1996年6月1日～9月20日(当日消印有効)

選 考：

当財団の選考委員会において選考し、理事会において決定します。結果は1996年12月下旬に申請者に通知します。

申請用紙：

申請用紙の請求は、「井上フェロー申請用紙請求」の旨、および受取人の郵便宛先を明記して、当財団に郵便(またはFax)で9月10日までに行ってください。

資料請求・問合せ先：(財)井上科学振興財団

〒150 東京都渋谷区猿楽町11-20
Tel. (03)3477-2738
Fax. (03)3477-2747

○1997年度日本学術振興会ナポリ臨海実験所派遣研究者募集について

趣 旨：

日本学術振興会は、国際学術交流事業の一環として、1965年以来イタリアのナポリ臨海実験所 (Stazione Zoologica di Napoli) に研究者を派遣している。なお、この事業は1984年度から、本会とイタリア学術研究会議 (National Research Council of Italy CNR) との間の協定に基づく研究者交流事業の下で実施している。

応募資格：

1. 短期派遣研究者
わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者 (教授・助教授級)。
2. 長期派遣研究者
 - 1) わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者 (助手級)、または研究生等として、これらの機関で研究に従事している博士の学位を有する者。
 - 2) 年齢が40歳未満 (1997年5月1日現在) であること。

対象分野：海洋生物学の分野

募集人員・派遣期間：

1. 短期派遣研究者 1人 15日～30日
2. 長期派遣研究者 1人 4～6ヵ月

経費負担区分：

1. 本会負担：往復渡航費
2. CNR 負担：
滞在費 (1996年5月現在) — 短期 15万 リラ/日
長期 250万 リラ/月

○理化学研究所主任研究員公募について

理化学研究所では、以下の要領で主任研究員を公募します。今回募集する主任研究員には和光本所 (埼玉県和光市) で研究室を主宰する他、主任研究員会議の活動を通して理化学研究所の研究運営に参画していただきます。

分 野：

「生体膜」を主軸にした研究：環境情報受容・応答、物質透過、細胞内蛋白質輸送、細胞やオルガネラの機能分化、細胞間・オルガネラ間情報交換などにおいて、生体膜が特異的な機能を発現する機構を分子レベルから理解しようという方向の研究。

資 格：

大学院において研究指導を担当する教授に相当する実力と研究実績をもつ方。国籍は問わないが、日本語が堪能であること。

提出書類：

- ①履歴書 (写真貼付)、②研究業績目録 (その中の主要

国内旅費 (イタリア国内) — 実費支給 (ただし、短期派遣は4ヵ所、長期派遣は2ヵ所まで)

申請方法：

申請者は、その所属する大学等学術研究機関の長または研究指導者の承諾を得て、次の書類を提出すること。

1. ナポリ臨海実験所派遣研究者申請書 (様式1)
正本1部、写し4部 (使用用紙A4判に限る)
2. 派遣研究者申請者調査書 (様式2)
正本1部、写し4部 (使用用紙A4判に限る)

申請受付期間：1996年8月19日 (月) ～ 9月13日 (金)

選考ならびに結果の通知：

1996年9月下旬に選考会を開催し、派遣研究者の選考を行う。

選考の結果については、10月中旬ごろに通知する。

なお、派遣に当たっては、事前にイタリア学術研究会議の承諾を必要とするので、正式の採用通知はその結果を待って行う。

連 絡 先：

募集に関する問合せ、および、申請書式の入手の希望等は、下記に連絡すること。

〒102 東京都千代田区麹町5-3-1 (ヤマトビル)

日本学術振興会 研究協力課

ナポリ臨海実験所派遣研究者担当係

Tel. (03)3263-1721 (代表)

論文5編以内に○印をつけ、別刷各1部を添付)、③従来の研究概要と採用された場合の研究計画 (あわせてA4用紙5枚程度)、④応募者本人の研究を評価できる方3名の氏名、連絡先。

着任時期：1997年4月1日以降なるべく早い時期。

勤務形態：常勤を前提とする。60歳定年。

待 遇：理化学研究所の規程による。(部長級)

応募締切：1996年9月30日 (月) 必着。

書類提出・問合せ：

〒351-01 埼玉県和光市広沢2-1

理化学研究所遺伝生化学研究室 柴田武彦

Tel. (048)467-9537 Fax. (048)462-4671

E-mail tshibata@postman.riken.go.jp

そ の 他：

本募集および当研究所の研究活動については、WWWの理研ホームページに掲載しています。(http://www.riken.go.jp/)

◆各種シンポジウム、講習会のお知らせ

○第7回電顕サマースクール1996

「極微構造のダイナミックス解析技術」

会 期：1996年7月26日(金)～28日(日)

会 場：千里ライフサイエンスセンター
(地下鉄御堂筋線千里中央駅北出口すぐ)

内 容：

日本電子顕微鏡学会では究極の形態研究のため、初心者から中堅までの若手研究者・技術者を対象にサマースクールを開いており、今年も第一線の講師が『極微構造のダイナミックス解析技術』の基本から最先端技術まで、その手技を、実際の体験に基づき解りやすく、明日からでも応用できるように解説します。また、実技講習も予定しておりますので、実際の機器に手を触れて、体験学習出来ます。

申込締切：1996年7月12日(金)

申込方法：

申込用紙に所定に事項を記入の上、サマースクール事務局宛にお送り下さい。Fax送信も受け付けます。お申込み受付後、振込用紙をお送りいたしますのでご入金下

さい。入金を確認次第、受講票をお送りします。サマースクールの当日、会場受付で受講票をご提示いただくとテキストと名札をお渡し致します。ご都合により申込みの取消しをされる場合は送金手数料を差引いてご返金いたしますが、7月6日(土)以降は返金に応じかねます。ただし、後日テキストはお届けいたします。

参加費：

日本電子顕微鏡学会会員30,000円(申込みと同時に入会も会員扱い)、協賛学会会員35,000円、非会員40,000円、学生会員(上記からいずれも5,000円割引)。参加費にはテキスト代(定価9,000円)が含まれます。テキストには1995年度日本電子顕微鏡学会技術認定試験問題とその解説も収録されています。

申込先：〒783 高知県南国市岡豊町小蓮

高知医科大学第2解剖学教室内

「電顕サマースクール」事務局

Tel. (0888)80-2301 Fax. (0888)80-2304

○千里ライフサイエンスセミナー

「遺伝子診療」

会 期：1996年9月6日(金) 10:00～17:00

会 場：千里ライフサイエンスセンター
ライフホール5階
豊中市新千里東町1-4-2
(地下鉄御堂筋線千里中央駅北口すぐ)

主 催：(株)千里ライフサイエンス振興財団

協 賛：(株)千里ライフサイエンスセンター

コーディネータ：豊島久真男(大阪府立成人病センター 総長)
森 徹(京大・医 教授)

プログラム：

1. 遺伝子治療の現状と今後の展望

1) アデノシンデアミナーゼ欠損症における遺伝子治療
崎山幸雄(北大・医 助教授)

2) 遺伝子治療に関する諸問題

① アデノ随伴ウイルス(AAV)ベクターの可能性
小澤敬也(自治医大 教授)

② 遺伝子治療におけるリポフェクションの開発と応用
金田安史(阪大・細生工セ 助教授)

2. 遺伝子診断の現状と今後の展望

1) 免疫関連疾患と遺伝子診断

笹月健彦(九大・防医研 教授)

2) がんの遺伝子診断；現状と展望

中村祐輔(東大・医科研 教授)

3. 遺伝子診療を適切に進める社会

中村桂子(生命誌研究館 副館長)

4. 遺伝子診療体制はどうあるべきか

森 徹(京大・医 教授)

参加費：

会員(ただし、大学、官公庁、主催・協賛団体会員)6,000円、

非会員8,000円、学生3,000円(講演要旨集含む)

定 員：300名

参加申込方法：

①氏名 ②勤務先、所属、役職名、所在地、〒、Tel.、Fax. を明記の上、郵便または Fax. で下記宛お申込み下さい。参加費は申込後に大和銀行千里中央支店(普) No. 4601085財団法人千里ライフサイエンス振興財団口座宛お振込み下さい。なお振込みの際、振込者名の前に K1 とご記入下さい。ご送金確認次第、領収書兼参加証を送付致します。

申込先：〒565 豊中市新千里東町1-4-2

千里ライフサイエンスセンタービル8階

(株)千里ライフサイエンス振興財団

セミナー係 担当：桜井・林

Tel. (06) 873-2001, Fax. (06) 873-2002

○千里ライフサイエンスセミナーブレインサイエンスシリーズ 第9回

「脳の接着因子—基礎と病態—」

会 期：1996年10月9日(水) 10:00～17:00

会 場：千里ライフサイエンスセンター
ライフホール5階
豊中市新千里東町1-4-2
(地下鉄御堂筋線千里中央駅北口すぐ)

主 催：(株)千里ライフサイエンス振興財団

協 賛：(株)千里ライフサイエンスセンター

コーディネータ：遠山正彌(阪大・医)

プログラム：

1. はじめに 遠山正彌(阪大・医)

2. カドヘリンによる神経回路の区画化

竹市雅俊(京大院・理)

3. 終脳特異的細胞接着分子テレンセフェリンの構造と機能 吉原良浩 (大阪医大)
 4. 神経細胞接着分子コンタクチンの機能とその細胞内シグナル伝達系 武内恒成 (奈良先端大)
 5. 細胞接着分子L1の構造と機能の解析 武田泰生 (慶応大・医)
 6. ロイシン・リッチ・リピート・ファミリーの脳における発現 高木 勉 (阪大・医)
 7. 脳腫瘍の進展におけるインテグリンの関与 松浦成昭 (阪大・医)
 8. おわりに 遠山正彌 (阪大・医)
- 受講料：
 会員 (大学、官公庁、主催・協賛団体会員) 6,000円、
 非会員8,000円、学生3,000円 (講演要旨集含む)

定員：300名
 参加申込方法：
 ①氏名、②勤務先、所属、役職名、所在地、〒、Tel. Fax. を明記の上、郵便または Fax. で下記宛お申込み下さい。受講料は申込後に住友銀行千里中央支店(普)No. 128278・財団法人千里ライフサイエンス振興財団口座宛お振込み下さい。なお振込みの際、振込者名の前にB9とご記入下さい。ご送金確認次第、領収書兼参加証を送付致します。
 申込先：〒565 豊中市新千里東町1-4-2
 千里ライフサイエンスセンタービル8階
 (財)千里ライフサイエンス振興財団セミナー係
 Tel. (06)873-2001, Fax. (06)873-2002

○国際幹細胞シンポジウム

- 会期：1996年9月26日(木) 9:00~17:25
 9月27日(金) 9:00~18:10
 会場：東京大学医科学研究所 講堂
 共催：幹細胞シグナル分子制御寄附研究部門
 (代表：東大・医科研 横田 崇)
 文部省重点領域研究「造血幹細胞制御」
 (代表：阪大 北村彦彦)
 科学技術庁科学技術振興調整費「免疫造血システムの体細胞変化による制御技術の開発に関する研究」(代表：千葉大 谷口 克)
- 後援：アムジェン(株)
 講演者：[第一日]
 SESSION 1 幹細胞の生物学
 Irving L. Weissman (Stanford Univ.)
 中内啓光 (筑波大)
- SESSION 2 増殖因子による幹細胞制御
 中畑龍俊 (東大・医科研)
 Nydia G. Testa (Paterson Inst., Cancer Res.)
 仲野 徹 (阪大)
- SESSION 3 幹細胞の応用
 Ian K. McNiece (Amgen Univ.)
 谷 憲三朗 (東大・医科研)
 Stephen D. Nimer (Memorial Sloan-Kettering Cancer Ctr.)
- SESSION 4 幹細胞コミットメント

- Katia Georgopoulos (Massachusetts Gen. Hosp.)
 Stuart H. Orkin (Harvard Univ.)
- [第二日]
 SESSION 1 造血
 Leonard I. Zon (Howard Hughes Med. Inst. Boston)
 谷口 克 (千葉大)
 Li Wu (Roy. Melbourne Hosp.)
- SESSION 2 サイトカインレセプターによる幹細胞制御
 横田 崇 (東大・医科研)
 松居靖久 (東北大)
- SESSION 3 幹細胞のシグナル伝達
 James N. Ihle (St. Jude Children's Res. Hosp.)
 渡辺すみ子 (東大・医科研)
 Nicos A. Nicola (Roy. Melbourne Hosp.)
 北村彦彦 (阪大)
- SESSION 4 トランスジェニック/ノックアウトモデル
 David P. Gearing (Millennium Pharmaceuticals)
 Tak W. Mak (Amgen Univ.)
 田賀哲也 (阪大)

参加費：無料
 問合先：〒108 東京都港区白金台4-6-1
 東京大学医科学研究所 幹細胞シグナル分子制御研究部 横田 崇
 Tel. (03)5449-5735 Fax. (03)5449-5450
 E-mail tyokota@ims.u-tokyo.ac.jp

○神奈川科学技術アカデミー

1996年度第Ⅲ期免疫学入門(基礎から臨床まで)コース

講義日：1996年9月30日(月)~10月4日(金)(5日間)
 特色・ねらい：
 近年、免疫反応に関与する細胞と機能分子の解析が著しく進み、分子レベルでの詳細な知見が得られています。その結果、免疫反応は、シグナルの受容、伝達、遺伝的プログラムの発現に至るまで、免疫系に特有な機能分子と、多くの細胞に共通する機能分子の共同作用によって遂行されることが明らかになってきました。本コースでは、第一線の研究者の先生方に、個体や細胞レベルの免疫現象から分子レベルへ、あるいは分子から免疫現象の再構築へ、さらには基礎研究から免疫の病態の解明へ、自らの研究の実例を中心に解説していただく予定です。
 カリキュラム編成者：
 新井賢一(東大・医科研 教授 医学博士)
 主なカリキュラム内容：

免疫系の構成と免疫学の課題：細胞から個体まで/HLAと抗原の認識とその応用/T細胞の活性化と機能/B細胞の機能と分化/サイトカインと遺伝子発現制御/サイトカインレセプターとシグナル伝達/IL-6の生物活性と作用機序/インターフェロンの作用機序/免疫における細胞死とFASの役割/細胞接着分子とその機能/免疫系と自己免疫疾患/免疫とアレルギー/造血幹細胞と骨髄移植の課題/免疫血液疾患と遺伝子治療/シグナル伝達ネットワークの操作と免疫反応の制御
 受講料：
 55,000円 KAST 法人賛助会員(事務所単位)49,500円
 募集人員：20名
 問合先：〒213 川崎市高津区坂戸3-2-1 KSP 西棟6F
 (教育部教育研修課 笠原)
 Tel. (044)819-2033 Fax. (044)819-2026

○第47回 タンパク質構造討論会

会期：1996年10月3日(木)、4日(金)
会場：吹田市文化会館 メインアター
吹田市泉町2-29-1 (阪急吹田駅前)
主題：タンパク質の構造と機能
発表数：講演25題(予定)(講演申込みは5月20日で締切られています)

共催：日本化学会、日本生化学会、日本生物物理学(予定)会、日本薬学会、日本農芸化学会、日本分子生物学会、日本蛋白質学会

連絡先：〒569 高槻市大学町2-7
大阪医科大学医化学教室 鏡山博行
Tel. (0726)83-1221 ext.2644
Fax. (0726)82-6851

○第5回日本バイオイメーjing学会学術集会

会期：1996年10月18日(金)、19日(土)
会場：東京工業大学100年記念館フェライト会議室
〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1
Tel. (03) 5734-4087
主題：1. 生体の動きのリアルタイムでの視覚化
2. 細胞内分子の動的变化、代謝・エネルギー変換の視覚化
3. 生体分子の物理化学的性質の解析画像
4. 分子のモデリングとドラッグデザイン
5. 細胞・組織・臓器の形態と機能を見る画像計測・画像解析法
6. バイオイメーjingのための3次元構築と立体視
7. テレサイエンスとバイオイメーjing
8. その他、生体画像処理・生体画像計測

以上に関する特別講演と一般講演を行います。一般講演を広く募集いたしますので、ふるってご応募下さい。

講演申込締切：7月15日(月)

講演要旨締切：9月9日(月)

講演申込・参加申込方法：

下記申込先へ郵便、Fax.、Tel.にて申込み下さい。郵便、Fax.の場合は講演題目、発表者、登壇者、所属を明記して下さい。日本バイオイメーjing学会会員の方は会報にある講演申込用紙をご利用下さい。

参加のみの場合は当日会場にて受付けます。

参加費：会員4,000円、学生2,000円、非会員6,000円(要旨集代を含む)

懇親会：10月18日(金)午後6時より

申込・連絡先：〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1

東京工業大学理学部生物学教室

浜口幸久

Tel. (03)5734-2244

Fax. (03)5734-2946

E-mail: yhamaguc@bio.titech.ac.jp

○第1回 静岡健康・長寿学術フォーラム

(いかに病氣と戦うかー現在そして将来ー)

第1部 老年期痴呆(ぼけ)の制圧

会期：1996年10月19日(土)、20日(日)

会場：三島市民文化会館大ホール

第2部 ウイルス感染と防御(種痘200年記念)

会期：1996年10月21日(月)、22日(火)

会場：静岡市民文化会館中ホール

問合せ先：〒420 静岡市追手町9-6

静岡学術フォーラム事務局

静岡県企画部学術・大学課

Tel. (054)221-3536 Fax. (054)255-1104

○国際ワークショップ Recent Advance in Genome Biology of Micro-organisms

会期：1996年10月27日(日)
午後6時~29日(火)午後5時

会場：幕張メッセ国際会議場

主催：かずさDNA研究所

目的：

急速に進展している微生物ゲノムの全配列決定の現状とその実験的・情報学的機能解析の展望等、今始まろうとしている微生物ゲノム生物学を議論する。

オーガナイザー：

吉川 寛、小笠原直毅、森 浩禎(奈良先端大)、田畑哲之(かずさDNA研究所)

予定演者：

Blattner, F. R. (USA), Danchin, A. (France), Diderichsen, B. (Denmark), Ehrlich, S. D. (France), Fey, S. J. (Denmark), Goffeau, A. (Belgium), Kunst, F. (France), Oliver, S. (UK), Riley, M. (USA), Rudd, K. E. (USA), Slonimski, P. (France), Tomb, J-F. (USA), 小笠原直毅(奈良先端大)、金久 實(京大)、榊 佳之

(東大)、田畑哲之(かずさDNA研)、堀内 嵩(基生研)、村上康文(理化研)

公募講演：

上記演者に加え、本シンポジウムの趣旨にふさわしい先端的・意欲的な研究発表を募集致します。講演時間は10~15分を予定しています。詳しくは下記までお問合せ下さい。

参加申込：

参加のみご希望の場合も、参加申込書を8月31日までにお送り下さい。会場の都合のため発表者を含め、最大先着200名の方に限らせていただきます。

その他：

27日(日)は午後6時より招待講演者を交えた懇親会のみ(参加費6,000円)を予定しています。講演は28日(月)午前9時30分より29日(火)午後5時の予定です。ワークショップの案内・プログラム等はかずさDNA研究所のWWWホームページ(<http://www.kazusa.or.jp/>)に随時掲載致します。

参加費：無料
問合せ・申込先：〒292 木更津市矢那1532-3
かずさDNA研究所 田畑哲之

Fax. (0438)52-3934
E-mail: tabata@kazusa.or.jp

○第6回 アンチセンスシンポジウム

会期：1996年12月2日（月）～4日（水）
会場：工業技術院筑波研究センター共用講堂
つくば市東1-1-4 Tel. (0298)54-2250
主催：アンチセンスDNA/RNA研究会
協賛：日本分子生物学会、日本薬学会、日本生化学
会、日本農芸化学会、日本化学会他

発表形式：

特別講演（Dr. P. D. Cook (ISIS), Dr. F. Wong-Staal (UCSD)ら7名を予定）、一般講演（口頭発表；講演、討論を含め20分程度）、ポスター発表。討論を目的としておりますので既発表の内容を含んでも差し支えありません。

発表申込締切：

7月20日（土）。B5判大の用紙に①演題、②所属、③氏名、④連絡先（住所、Tel.、Fax.）、⑤200字程度の要旨、⑥希望の発表形式を明記し、シンポジウム事務局まで、郵便でお申込み下さい。なお、発表形式、プログラム編成等については世話人会にご一任下さい。

発表要旨締切：

11月5日（火）。詳細は後日講演申込者に連絡します。

参加登録費：

事前登録 一般3,000円、学生1,500円（11月5日（火）まで）氏名、所属、連絡先（住所、Tel.、Fax.）を明記の上、郵便振替（口座番号：00120-8-12178、名称：第6回アンチセンスシンポジウム）にてお申込み下さい。当日登録 一般4,000円、学生2,000円

懇親会：

12月2日（月）予定。18時より同センター厚生別館にて開催します。

参加費：

一般4,000円、学生2,000円。原則として予約制とします。参加登録時にお申込み下さい。

宿泊に関する問合せ先：

JTBつくば支店、担当 小暮、栗山、北川
Tel. : (0298)55-6522 Fax. (0298)55-6528

連絡先：〒305 つくば市東1-1

生命工学工業技術研究所内

第6回アンチセンスシンポジウム事務局

Tel. (0298)54-6086(多比良) 6085(西川)、

Fax. (0298)54-6533

雑誌 Genes to Cells の購読とキャンペーンに関するお願い

新しい雑誌 Genes to Cells が富沢純一編集主幹のもとで刊行され、すでに号を重ねてきたことは、皆様ご存じのことと思います。内容、体裁ともに整った科学誌が世に出るようになり、富沢主幹の御努力を多とするものです。

すでに繰り返し述べているところですが、この雑誌は日本分子生物学会の会誌ではありません。しかし、Genes to Cells の刊行には、この活発な研究分野で、世界に向けてアジア、特に日本から貢献しようという心が強く籠められています。このため、日本分子生物学会は、この雑誌の刊行を全面的に支援し、その成功に協力を惜しまない覚悟です。

この雑誌が高い評価と地位を得るためには、いつも質の高い論文が載せられていなくてはなりません。幸い、これまでのところこの条件は満たされています。

ところで、質の高い論文が集まるには、雑誌のサーキュレーションがよいこと、あるいは浸透度が高いことが大切な条件の一つになります。発刊後の2ヵ年くらいが特に重要な期間で、この間にどのくらい浸透するかは雑誌の成否が大きく左右されるといっても過言ではありません。

そこで、学会として次の購読キャンペーンを展開したいと思います。皆様の御理解と御協力をお願いする次第です。

1. まず何よりも、会員の皆様に購読の申込みをお願いいたします。

Genes to Cells をあえて日本分子生物学会の学会誌としなかったのは、会員の方々による自発的な購読を支えとして国際誌としての地位を確保したいという願いによるものです。購読申込書にあるように、会員価格を設けております。

しかし、会員による現在の購読数は決して満足できるものではありません。全会員数7千余、年会参加者5千、発表演題数2千数百という学会の活況を考えれば、年会に演題発表をする研究グループには少なくとも1冊の Genes to Cells が備えられるよう、会員の皆様の購読をお願い致します。

2. 通常の購読申込みのほかに、複数冊の購読申込みに御協力をお願いします。

単に複数冊買い取るだけでなく、それらを最初の1年間あるいは2年間、皆様と関係の深い世界的にも有力な研究室に寄贈していただけないでしょうか。

雑誌は出版社から自動的に相手方研究室に送られますが、送付される雑誌には「Dr. ……の寄贈による」というコメントが付けられます。これによって、雑誌 Genes to Cells およびそこに掲載された論文を世に周知させる効果は計り知れないと思います。もし同一の方に対して複数の寄贈の申し出がある場合には、出版社により調整され、重複が避けられます。

また御自身で購読される2冊目以降の雑誌を教室や研究室において頂ければ、若手の人々の利用に供することができると思います。

「御自身で○冊、しかじかの研究室への寄付として○冊」と空欄をいれた Subscription form を用意いたしました。皆様の御賛同と御協力をお願い致します。

日本分子生物学会 会長 松原謙一
日本分子生物学会 編集幹事 吉川 寛

GENES TO CELLS

b

Blackwell
Science

Order Form - 1996 Subscription

I would like to register subscription(s) to *Genes to Cells* for myself, starting with the first issue in January 1996. The special MBSJ price is ¥7500 per subscription.

(Category 6)

Name

Delivery Address

I would also like to register subscription(s) to *Genes to Cells* on behalf of the following persons or institutions, starting with the first issue in January 1996. The special MBSJ price is ¥7500 per subscription.

(Category 7)

1. Name

Delivery Address

2. Name

Delivery Address

3. Name

Delivery Address

Payment details

I therefore attach payment for a total of subscriptions to *Genes to Cells* for 1996 at ¥7500 per subscription

Unfortunately we are unable to process subscription payments in Yen. We will therefore charge you an amount in sterling which will be equal to or less than ¥7500 at the exchange rate in force on the day that we process your order.

Please debit my American Express / Diners / Eurocard / Mastercard / VISA
card no: expiry date /
Signature.....Date.....

Please send me an invoice (all subscriptions are payable in advance)

Name.....

Address.....

Street / PO Box.....

Town.....

County.....

Country..... Telephone no.

Post/Zip Code..... e-mail.....

Please return to:

Anna Rivers, Blackwell Science Ltd, Osney Mead, Oxford OX2 0EL, UK.

Tel: +44 1865 206206; Fax: +44 1865 206096

e-mail: anna.rivers@blacksci.co.uk

日本分子生物学会 会報

年3回刊行

第54号 (1996年6月)

発行：日本分子生物学会 庶務幹事

製作：学会センター関西

(財)日本学会事務センター 大阪事務所